

〔等持院殿御集〕

冬歌

河時雨

〔等持院殿御集〕

戀歌

寄天戀

〔等持院殿御集〕

雜歌

田家春

〔菟玖波集〕

春連歌上

月うけ寒く夜こそふけぬれ

とつ春は霞あうらもふゆうとて

里あれは浦よもかねや聞ゆらん

難波の梅のよふゆふくれ

つれあき物やあまたあるらん

有明はやうておろろよ成よけり

〔菟玖波集〕

春連歌下

いつもたゝまでい別のあるまゝよ

南朝正平十三年 北朝延文三年四月三十日

暮ふかき門田の面の苗代にかすみのみおをまつ引てけり
○以下二十首略ス

空に住枝にならはん語らひのそれもいかてか世にはもりける
○以下百首略ス

山崎やむかひの雲の一むらは淀の川瀬に時雨來にけり
○以下五十首略ス

前大納言尊氏

前大納言尊氏

前大納言尊氏